

# はまぼうふう vol.19

2006.5.25.

石狩浜海浜植物保護センター通信

今年の5月は、春と初夏が混在するような気候でしたね。ようやく満開になったイソスミレを、初夏の日差しが照り付け、ちょっと不似合いな光景でした。しかし、遅れ気味だった花たちの開花も例年どおりとなり、ハマエンドウも咲き始めました。ハマナスは、6月中旬が見ごろでしょう。

草原にひっそりと咲くヒメイズイの花には、アリが訪れ、花の付け根に穴をあけて蜜をなめていました。

虫たちも盛んに活動する季節です。



ヒメイズイの花。一番下の花にアリがいます。

## 石狩浜の6～7月の花

はまなすの丘木道周辺・海水浴場周辺でよく見られます



ハマエンドウ  
(マメ科)



ハマナス  
(バラ科)



ハマヒルガオ  
(ヒルガオ科)



ハマボウフウ  
(セリ科)

海岸草原(石狩樽川海岸線沿い、はまなすの丘湿原周辺)でよく見られます



エゾスカシユリ  
(ユリ科)



ノコギリソウ  
(キク科)



エゾカワラマツバ  
(アカネ科)



エゾカワラナデシコ  
(ナデシコ科)

湿原(はまなすの丘あずまや周辺)でよく見られます



エゾノレンリソウ  
(マメ科)



ハナショウブ  
(アヤメ科)



タチギボウシ  
(ユリ科)



カセンソウ  
(キク科)

## 企画講座「キタハウネンエビの生態を学ぶ」より

「キタハウネンエビ」という生き物を知っていますか？世界中でも日本だけ、日本の中でも石狩砂丘の海岸林と、青森県の下北半島の一部にしか生息が確認されていない、珍しい生き物です。エビという名前がついていますが、食卓に上がるエビの仲間ではなく、ミジンコやカブトエビに近い仲間です。この「キタハウネンエビ」について、4月29日、北海道環境科学研究センターの五十嵐聖貴研究員を招いて、学習会と現地観察会を行いました。

キタハウネンエビが生息する場所は、海岸林の中でも、雪解け時期だけに水が溜まる融雪プールと呼ばれる場所です。

この融雪プールの形成は、石狩砂丘の成り立ちと深く関係しています。石狩砂丘の陸側には、浜砂堤列と呼ばれる小さな砂丘の列が、海と平行に高低差1～2m、20～30m程度の間隔で凹凸をつくって、内陸の紅葉山砂丘まで続いています。これは、5000年前の海岸線であった紅葉山砂丘から、現在の海岸線まで海がゆっくり後退していく過程でつくられたものです。

この浜砂堤列の地形は、大部分が農地、宅地開発で失われましたが、防風林として保護されてきた海岸林内には残っています。この残された浜砂堤列の凹地に、春先だけ雪解け水が溜まるのが、融雪プールで、そこにキタハウネンエビが棲んでいるのです。



キタハウネンエビ（真上から撮影）

横から見ると、脚を上にして泳いでいる

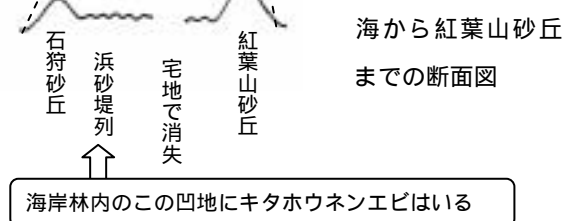
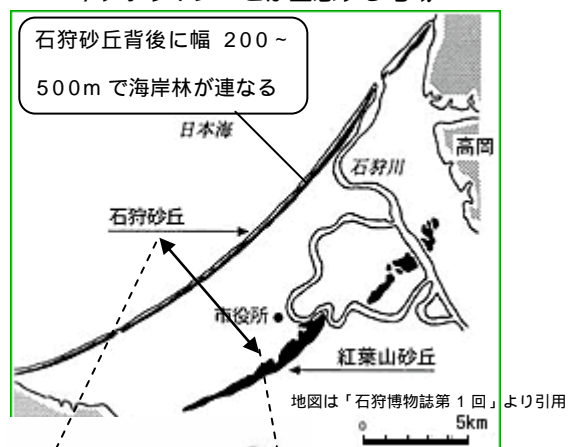
一方、雪の量が多く、融雪プールが隣のプールとつながってしまう年もあります。このような年には、隣のプールへ移動することができるチャンスです。

このように、キタハウネンエビは、融雪プールの不安定な環境に適応した生態をもつ生き物なのです。

石狩以外にも、融雪プールができる環境は道内各地の海岸にあります。そこにはいないのでしょうか？

融雪時期という限られた時期の調査で発見するのは

## キタハウネンエビが生息する地域



融雪プールから水が無くなる時期は、年によって違いますが、だいたい6月頃には無くなります。

キタハウネンエビは、融雪プールに水がたまっている2ヶ月間で、卵から孵化し、成長し、繁殖を終えます。水がなくなる残りの10ヶ月間は、卵で過ごします。

しかし、融雪プールは、とても不安定な環境です。ある年は、あっという間に干上がってしまう年もあります。こういった年には、孵化したキタハウネンエビは成長途中で死んでしまいます。このような万が一の状況に備え、孵化しないまま翌年以降まで残っている卵もかなりの割合であるようです。長いものでは10年以上も卵のまままでいられるようです。



捕まえたキタハウネンエビを観察する参加者

難しいため、まだ発見されていないだけで、実際は生息している可能性は十分あるとのことでした。

しかし、いずれにしても、キタハウネンエビが石狩の海岸林で生息できるのは、浜砂堤列という地形があり、これが海岸林とともに残されてきたからです。

今年は雪解けが遅く、観察会の時にはまだ5mm程度の<sup>ようせい</sup>幼生で、融雪プールの水量も多く、大変観察しにくい状況でした。そんな状況にも関わらず、なんとか3匹をケースに入れて観察することができました。桜の咲く頃、キタハウネンエビは最大の1cmほどの大きさになり、卵を産み落とし、短い一生を終えます。

小さな生き物ですが、私たちに、生命の不思議や自然環境を守ることの大切さなど、様々なことを教えてくれました。

本講座の資料が欲しい方、残部ありますのでお申し出下さい。

## 最近の活動

### はまなすの丘外来植物除去作業

4月26日(水) 総勢15名の市民ボランティアのみなさんが集まり、石狩灯台周辺で増えているカモガヤ(外来植物の牧草)の除去作業に取り組みました。

石狩浜夢の木プロジェクトのみなさん、石狩緑化推進協議会のみなさん、石狩植物愛好会のみなさん、海浜植物保護センターボランティアのみなさん、どうもありがとうございました。

はまなすの丘の灯台周辺以外は、できるだけ自然のままの状態を維持し、保護しています。



### 自然観察会

5月13日(土) 参加者15名  
イソスミレがちょうど見ごろに達したところで、参加者の目を楽しませてくれました。予定していたハマハタザオは、まだ開花せず。今年はかなり開花が遅れていました。しかし、冬の眠りから目覚めたばかりのトカゲやキア

ゲハを見つけ、暖かい日差しのもと、春を全身で感じることができました。



### 定期観察

毎月第1、第3水曜日にボランティアさんと実施。今年は撮影班をつくりました。撮った写真は、みんなでコメントをつけて、センターで展示しています。

5月3日：8名参加。イソスミレ開花まであと一息。ヒバリ、ノビタキに加え、オオジュリンが観察できました。

5月17日：7名参加。イソスミレ満開、ハマハタザオ、オオヤマフスマも開花はじまりました。

## お知らせ

石狩浜の自然についてガイドによる説明や、海浜植物の苗移植体験を希望する方は、電話、メール、ファクスいずれかで、センターへ申し込んでください。(希望日時、人数、代表者氏名・連絡先をお知らせください。)ただし団体利用の方に限らせていただきます。費用は無料です。

2006.5.25

## 海浜性キノコ調査の研修会

昨年秋、アカダマスツポndaケというキノコが石狩浜で発見されました。これは、日本で約60年ぶりの二例目の発見です。このキノコは、ハマニンニクやコウボウムギの根と共生している可能性が高く、海浜性キノコの生態に関する調査に、筑波大学とNPO法人北方菌類フォーラムが取り組むことになりました。当センターは、この調査へ協力依頼を受け、5月24日(水)ボランティアさん向けの研修会を開催しました。参加者5名と少なめでしたが、研修後の現地観察では、さっそくキノコを見つけた人もおり、中味の濃い研修でした。この調査に興味のある方、参加したい方は、お申し出下さい。



研修会のスライドの一部  
(北方菌類フォーラム竹橋氏作成)

## 活動予定

### 初夏の自然観察会

6月10日(土) 9:30~13:00

ハマナス、ハマエンドウが咲き、石狩浜が一番彩られる季節。動植物を観察しながら石狩川河口まで散策します。

集合：自車の方;10時はまなすの丘グイターセンター、バス利用の方;9:30 石狩市役所

定員：バス利用の方 40名(先着順)

自車の方は定員なし

### 自然観察会～断崖海岸の植物～

7月15日(土) 9:00~16:00頃(予定)

浜益の送毛海岸で、断崖海岸の植物を観察し、浜益地域の自然について学びます。昼食持参です。

集合：9:00 石狩市役所または10:30 現地(現地集合希望の場合は要問合せ)

定員：25名(先着順)

共通して

対象：子ども～大人 参加費 100円

持ち物:筆記用具・帽子・飲み物・防寒着・雨具

お持ちの方は双眼鏡・(7/15は昼食)

小雨決行・悪天時中止

### こども自然教室

7月8日(土) 10時~15時

クイズやゲームで海浜植物や砂丘の生き物について学びながら、石狩川の河口を楽しく歩きます。昼食持参です。

集合：自車の方;10:00 はまなすの丘グイターセンター、バス利用の方;9:30 石狩市役所

対象：小学生(低学年は保護者同伴)

定員：30名(申込み多数の場合抽選)

申込み締切：6月28日

参加費：100円(保険料、資料代として)

持ち物：昼食・筆記用具・帽子・飲み物・防寒着・雨具

定期観察してます!

植物の開花の状況、観察される野鳥を記録し、石狩浜の自然の基礎情報を集めます。

日にち：10月まで毎月第1、3水曜

時間：10:15頃 海浜植物保護センター集合  
15時半頃まで

持ち物：双眼鏡・筆記用具・昼食・野外活動の服装  
参加希望の方は、お問合せください。

行事・講座への参加申込・お問合せ、通信・刊行物に関するご意見、お問合せ等は、下記まで。

開館期間(4/29~11/3): 〒061-3372 石狩市弁天町48-1 tel.0133(60)6107 fax.0133(60)6146

開館時間 9時~17時 休館日：火曜日(祝日の場合その翌日)

email. [ihama@city.ishikari.hokkaido.jp](mailto:ihama@city.ishikari.hokkaido.jp)

HP: <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/index.htm>